

## ファミリースキー場オースの概要

旧国土庁の補助事業として 1994 年に建設されたスキー場。豪雪地帯の地域振興のため雪国快適環境総合整備事業の一環として、旧・美山町（2006 年 3 月福井市と合併）が整備。総工費約 1 億 3700 万円をかけて 13,400 平方メートルを 2 年がかりで整備した。

整備後、一度も利用されることなく 2007 年 3 月に廃止。その後、福井市は 2007 年 8 月 27 日に国と県に補助金の返納を決定したと発表した。詳細は下記の項目を参照のこと。

### 所在地

- ・福井市所谷町（旧：美山町）

### 設備等

- ・リフト：ロープにつかまるタイプ 1 基
- ・コース：全長 180 メートル
- ・その他：照明施設 4 基
- ・駐車場：20 台

### 経緯等

- ・総工費：2 億 5 5 1 7 万円（克雪施設・親雪施設合計）
  - ・スキー場部：1 億 3 7 0 0 万円 - 親雪事業費
    - ・国の補助：4 0 7 8 万 6 千円
    - ・県の補助：2 0 3 9 万 3 千円
  - ・融雪装置等（補助金のみ掲載）5 7 1 3 万円：- 克雪事業費
- ・1991 年：「雪国快適環境総合整備事業」の補助事業として採択される
- ・1993 年 5 月：旧美山町が補助事業として着工
- ・1994 年 12 月：完成
- ・2007 年 3 月：一度も使われることなく廃止
- ・2007 年 5 月：国会党首討論で民主党の小沢代表が補助制度の矛盾として取り上げる
- ・2007 年 8 月：補助金の返納を福井市が発表
- ・2008 年 1 月：敷地の借地契約の解除を発表（福井市）
- ・2008 年 3 月：敷地の借地契約の解除（予定）

## 無駄な公共事業をめぐる諸問題

スキー場へのアクセス道路が急な坂道で幅員 4 メートルしかなく、スキー場にもかかわらず、積雪すると通行不能となるという無計画な場所に建設。開設以来、一度も利用されたことがない。

2006 年 3 月に美山町と福井市が合併する際、スキー場管理条例を引き継いでおらず、公営スキー場としての効力は失っており、かつ、維持管理を行ってきていないため、ゲレンデや施設は荒れ果てて使えない状態である。にもかかわらず、一部が借地であるため、地主に年間 233 万円の借地代を支払っており、累積の支払額は 3000 万円を超える。

これらは、合併後の福井市の大きな負担となっており、費用対効果の面から 2007 年 3 月に廃止を正式決定した。

2007年5月の国会党首討論では、民主党の小沢代表が、スキー場を造らないと融雪装置の補助金がもらえないという国の硬直化した補助制度の矛盾を追及し全国的に注目を集めた。(ただし、実際には、旧美山町が自ら望んでスキー場と融雪装置の両方を整備したものであり、「国の指導によりスキー場を造らされた」という事実はなかったようである。)

その後、2007年8月27日に福井市は、国と県に補助金を返納し財産処分することを発表。除雪等の克雪事業とスキー場建設等の親雪事業から構成される雪国快適環境総合整備事業のうち、スキー場部分の補助経費6117万円を自主返納の予定。

なお、スキー場用地の地代として、4人の地権者に92年から年間233万円を払い続けているが、契約上は2007年度も支払い義務がある。契約は最長で2013年まで残っており、今後、契約解除に向けた話し合いを実施していく。

無計画かつ無駄な公共事業の典型とも言われるこのスキー場計画であるが、福井市と合併した旧美山町、越廼村にはこのような施設が他にも幾つか存在し、福井市の今後の対応が注目される。(補助金返還等の問題などもあるが、事業採択し、補助金を拠出した国、県の責任も求められよう。)

## カテゴリー